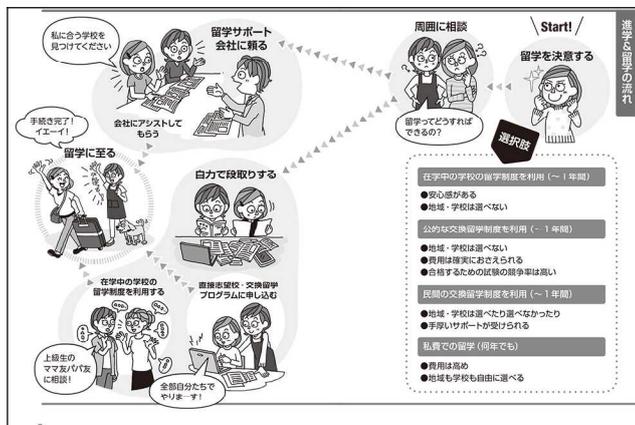


『留学を考え始めた親と子が読む本』



ある日突然、子どもが「留学したいんだけど」と言い出したらどうする？
 逆に、親として子どもにはぜひ留学して視野を広げて欲しい場合は……

- 授業についていけるか？
- 寮生活になじめるか？
- お金はどのくらいかかる？
- 単位や就職はどうなる？

留学には疑問や不安がいっぱい。著者の平田久子は親が留学、本人も留学、子どもも二人とも留学させた、親子三代の留学経験者。国別費用とスケジュール、共通テストの種類といった情報から、さまざまな体験談までカバーし、留学を考え始めたときに最初に読んでおきたい1冊です。

■留学を成功させるには、何よりも本人のやる気

親が熱心で、「いやいや送られたけど、なんとかやり遂げた」という成功物語の裏には、その何十倍もの中途脱落者が隠れている。

■不登校の子は留学で成果をあげられるのか

留学を検討する価値は大いにある。新しい環境に身を置くことで、過去のつらい記憶と距離を取りやすくなる。そして、留学先の先生たちは生徒を褒めて育てようと強く意識しているので、自己肯定感が高まる。

■あえてダークサイドに触れる

どこにでもいじめはある。飲酒、薬物、異性・同性間トラブル、さらに武器が身近に存在する社会では「ちよい悪」を甘く見てはいけなない。

平田 久子 著
 四六判変形198ページ
 本体1,800円
 ISBN978-4-86454-143-5

本書はアメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの高校および大学への1年以上の留学を対象として執筆しています。

お問い合わせ先: コスモピア株式会社 マーケティング部
 〒151-0053東京都渋谷区代々木4-36-4
 TEL 03-5302-8378 FAX 03-5302-8399 e-mail: mas@cosmopier.com
<https://www.cosmopier.com>